

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)ウイングエクスプレス 物流倉	階数	地上2F、地下0F
建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来北5-3、	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	173 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 予定	評価の実施日	2018年11月9日
敷地面積	11,472 m ²	作成者	西川 学
建築面積	4,550 m ²	確認日	2018年11月12日
延床面積	5,823 m ²	確認者	石田俊二郎

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:☆☆

①参照値 100%
②建築物の取組み 78%
③上記+②以外の 78%
④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

音環境	2.5
温熱環境	2.7
光・視環境	2.7
空気質環境	2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

機能性	1.9
耐用性	3.1
対応性	2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	1.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.6
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	2.2
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	3.8
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
外壁の熱貫流率の数値が良くCO ₂ 排出量が比較的小さい設計となっている		
Q1 室内環境 外壁の熱貫流率の数値が良い	Q2 サービス性能 耐用年数高い内装仕上げ材を使用している	Q3 室外環境(敷地内) 植栽を行っており環境に配慮している
LR1 エネルギー BEIm=0.8以下で比較的良好な数値である	LR2 資源・マテリアル グラスウールを使用しているためフロンガスを出さない	LR3 敷地外環境 CO ₂ 排出量が比較的小さい設計となっている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0102

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(株)ウイングエクスプレス 物流倉庫増築工事						
	建設地	大阪府泉佐野市りんくう往来北5-3、5-4						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						5	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告						報告しない	
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.6	5	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							